



にいつオカリナクラブ&ミュージックハウスの共演



川口神楽保存会



荻川桜会



荻川地区銭太鼓合同チーム



市之瀬一水会



荻川マジック愛好会



コミ協音頭を普及する会



空手道新武会



荻川桜会



コミ協音頭を普及する会



ぎっずポート中野&あおぞらクラブ結

第34回！ふれあいの祭典
「荻川地区芸能祭」3年ぶりの開催
 6月12日に第34回荻川地区芸能祭が開催されました。芸能祭の開催は3年ぶりになりました。コロナ感染対策を行った上での開催でした。例年に比べて出演者は少なく、演目の時間も2時間ということになりましたが、早通コミ協の役員の方々、荻川地区の町内会長・自治会長さんをはじめ、大勢の方々から見に来て頂き、最後まで楽しんで頂けたと思います。
 会場設営、後片付けには文化教養部を中心に各専門部、関係サークル、事務局の皆さんからもご協力を頂き、とてもスムーズに短時間に行うことができました。
 コロナ禍でコミ協の活動が少なくなっておりますが、できることから再開していけることを願っております。

文化教養部 田中武則



2022. 7. 15 第198号
 発行者 荻川コミ協
 発行人 横山道夫
 電話 (24) 5776

荻川の人口	世帯数	7,117戸
	人口	18,261人 (前年同日比-79人)
	男性	8,860人
	女性	9,401人 (2022年5月末日現在)

芸能祭 銭太鼓 94歳今だ現役

丸山 耕美(中野)

久しぶりに開催の芸能祭は盛大で、例年の高齢者が多いのに比べ若い夫婦の子供連れが増えた様に感じました。そんななかで荻川地区の老人クラブの代表として94歳の私も銭太鼓に出演する事が出来、本当に幸せでした。演目は「高校三年生」と「きよしのズンドコ節」で荻川地区の銭太鼓は、秋葉区労連の副会長で担当の、こがね町の笹木正子様の熱心なご指導によりなんと披露できたと思います。終わってからの思った以上の大きな拍手を頂き心爽やかに舞台を降りることが出来ました。今回の共演は川口、荻島、中野の3町内の老人クラブの皆さまでした。



コミセン構内花壇花苗植え付け・グリーンカーテン作成実施

6月5日(日)環境整備部11名による、コミセン構内花壇花苗植え付けグリーンカーテン作成作業が行われました。

当日は町内活動等と重複した為か参加者が少ない状況となりましたが、手分けして作業が行われ、花壇プランターの花が綺麗に植え替えられました。また、本館会議室裏にゴーヤの苗を植え付けました。夏にグリーンカーテンとなることが期待されます。

これで芸能祭で綺麗な花を見てもらう事ができました。(環境整備部)



コミセン構内・西公園除草・コミセン 体育館脇下水道口上げ実施

5月8日(日)環境整備部16名による、コミセン構内・西公園除草・体育館脇下水道口上げ作業が行われました。

令和四年度初めての作業で当日は雨予報が外れ晴れとなり、分担しながら効率よく作業が行われ、コミセン構内・西公園内も綺麗になりました。体育館脇の側溝も思ったより枯葉やドロが溜まっており土嚢袋がたくさん出来ました。



生涯学習講座100回記念の講座開催

(環境整備部)

コロナ禍で満を持しての登場となった、今回の金森先生の「奥の細道芭蕉は鼠ヶ関を超えたのか」で、丁度100回の節目の講座となりました。受講生も44名が聴講しました。



奥の細道は、芭蕉が崇拜する西行の500回忌に当たる1689年(元禄2年)に門人の曾良を伴って江戸を発ち奥州、北陸道を巡った紀行文です。全行程約600里(2400キロ)日数約150日間の長旅でした。今回の講義では、「入り鉄砲に出女」と言われた関所(番所)に視点を置いたお話しでした。

温海から鼠ヶ関までは断崖絶壁でもある悪路で、二人は深川を発って89日目にして初めて別行動を取ります。何故2人は別行動を取り翌日合流したのか? 当時は関所が各地に設けられている藩界

を超えるには手続きが必要で、単独で関所を通過するのは疑念が持たれ許可が得られなかった可能性があります。

門人の曾良との別行動で芭蕉は、湯本を経由し、温海川から小国街道を通って小国へ入ったと思われます。結論として鼠ヶ関を超えていないということでした。

金森先生の細部にわたる調査に大変興味深く拝聴いたしました。

今後また楽しい講座を期待しています。

女性部社会見学に行つて来たよ!

6月15日(水)49名で女性部社会見学に参加しました。

8時30分から受付を開始する予定でしたが、荻川時間には勝てず8時10分には参加者が集まり、自然の流れの中で受付開始となりました。

梅雨入りして心配した天気も、神様が涙を我慢してくれたのか? 恵まれた天気となりました。

心配された新型コロナ対策も、受付時の検温で体温を記録すると共に3回目ワクチン接種証明書の提示をお願いし、参加者の皆さまのご理解とご協力でシッカリと確認をさせて頂きました。

新発田市内・城下町の街並散策・白壁兵舎・あやめ園等、約1万歩を計測しました。「忘れた頃に、この疲れは何だっけ!」と言うかもね。という話し声も聞こえてきました。

最後に道の駅、加治川での買物では、隣国の旅行客のような爆買いです。「荻川のお客さま恐るべし!」とレジ担当の女性の声が聞こえたとか?

3年振りの社会見学も満を持しての参加で、皆さんの熱意が感じられました。参加者の笑顔に触れて、難しい課題もありましたが実施して良かったとの満足感を得ることができました。



とができました。ご参加頂きました皆さま、ありがとうございました。

早朝から準備や手伝いのスタッフの皆さま、ご苦勞様でした。(女性部 参加者)

餅ちぎり講習会を開催

5月22日(日)に女性部の皆さん16名が参加して、餅ちぎり講習会を行いました。コロナ禍の影響を受け3年振りの講習会となりました。

材料の小豆もち米も「昼夜水に浸し、十分に水分を吸わせてからの調理ということ。小豆は前日から煮込み弱火で「おいしゅうなあれ」「おいしゅうなあれ」と念じたかどうか? 出来上がった、あんこは甘すぎずに上品な味で、つついお代わりが惜しくなる美味しさでした。

もち米にはよもぎを蒸したものと良くこね、香よく仕上がりました。

なかなか家庭において作ることが少なくなつたこの頃ですが、初めて参加して頂いた部員の方も貴重な経験をさせて頂き、帰って子供に食べさせたいと喜んでいました。

昨今、コロナ禍にあり、様々な行事が中止せざるを得ない状況が続いていますが、やり方や防衛態勢を工夫しながら、女性部の行事を行つていきたいと考えています。

最後に参加して頂いた皆さん、お疲れさまでした。(女性部 参加者)



第76回新潟県美術展覧会 荻川地区受賞者

5月27日から朱鷺メッセ ウェーブマーケットで開幕されました。

※荻川地区の入選受賞者の皆様

【日本画・入選】 石附由美子(車場町内)

【洋画・入選】 出山 修(中野町内)

【版画・入選】 石崎則昭、中澤美代子(こがね町町内)

宮下正孝(中野町内)

灰野紅舟(川口町内)

石倉盛夫、菊池忠四、塚野 勲(車場町内)

【書道・入選】

【写真・入選】

※一部作品は次号に掲載いたします。

新たに始まります! 「ほうかご広場」のお知らせ

結小学校の子どもの放課後の居場所として、川口地域交流会館の一部を開放します。LINE公式アカウントにて、開催日やイベントなどお知らせします。



ほうかご広場

LINE公式アカウント



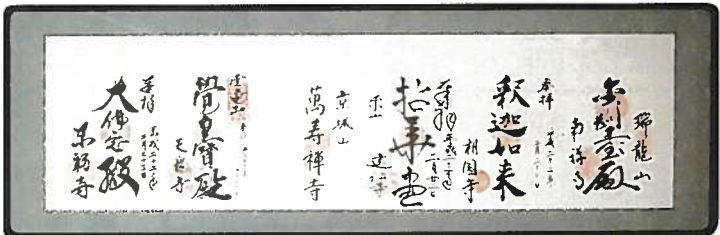
主催 小柴美樹(川口在住)
共催 荻川コミュニティ振興協議会
荻川地区社会福祉協議会

開催日 8/4・9/15・10/13・11/10・12/15(木曜日15時~17時)

御朱印をいただきました

車場2 坂爪

この額の御朱印は京都五山で京都に在る臨濟宗の五大寺で足利義満より位次決定されました。第一位に天龍寺、相国寺、建仁寺、東福寺、萬寿寺と続きまして、南禅寺を五山の上としました。御朱印は額の右より南禅寺、相国寺、建仁寺、萬寿寺、天龍寺、東福寺と続いております。尚、万寿寺明治初期に東福寺の塔頭となり、今は一般公開しております。



二中「登校時の見守り声かけ」

PTA学年委員会事業

○街頭指導の期日→毎月10日を交通安全日として指導を行なう(地域のあいさつ運動の日に併せて実施)

○秋の交通安全週間
の3日間9月21日、22日、26日(27日市
新人大会で無し)

※各学年のPTA役員と学年の先生が立哨指導をします。

○立哨指導場所

一学年委員会

二学年委員会

三学年委員会

荻川駅西側
高架下入口
田島・結
公園前付近
荻川駅東側
ファミマ近く交差点



花壇植栽を行いました!!

車場5丁目

6月5日(日)8時より車場5丁目町内恒例の花壇植栽を有志15名で実施しました。

今回、今後の作業負担を見据え、昨年の総会で提案がありました花壇の半分を維持管理が容易なガゼニヤに植え替えすることから前年より3割削減してマリーゴールド120ポット、ペゴニア160ポットの苗付けを行いました。

作業は、前週有志5人で花壇の除草、土壌改良等実施し、植え付け作業の軽減を図ったことから1時間程で終了することができました。作業に参加いただいた皆さん、ご苦労様でした。

夏場にかけてあざやかなオレンジや黄色の花を咲かせるマリーゴールドや多彩な花や葉が楽しめるペゴニアが通勤・通学・沿道の皆さんを和ませられると思います。沿道の皆様、花壇灌水等、協力よろしくお願いします。

本作業も通算17年目に突入し参加者の減少、高齢化の傾向ですが、町内の皆さんと花壇作業を通して融合と懇親を深める為、今後とも続けたいと願っています。

Y.T



↑6月12日
中野5丁目も実施
しました。

我が青春 (7) 「駅伝は半端じゃない」

七区以降の伴走は助監督に任せ、監督と関東在住の先輩とで食事、私は食欲がなく拒否しジュースと水だけを求めた。先輩が心配するのだが身体が受け付けない。胃液と胆汁の分泌が原因だと、監督が説明していた。昨今のレース展開では、給水ポイントがあり脱水や体力の消耗から守られている。当時はそんな健康生理面などの配慮は殆どない。練習中においても水を飲むことさえ憚り、「死んでもタスキを繋げ」といった精神論・根性論の世界であった。

「我が青春」を綴ったのは、九十回大会のテレビ観戦からで、五十年前の母校の記念出場が紹介され、私の「古希」と重なった故である。優勝候補の山科学院が二区で棄権、原因は選手の披露骨折という。その後走る選手は区間新記録を立てても無効オープン参加となる。リタイヤした選手はともかく、他の九人は無念の走りを強いられる。駅伝はタスキを繋ぐリレーであり、学校対抗選手権ともなれば歴史に傷がつく。山科の監督は記者会見で『君達には責任がない私の責任』だといったが、当の本人は「生悔やむことになる。疲労骨折など私の時代では考えられなかった。」

駅伝は半端な競技ではないのは百も承知だが、今日の健康管理や栄養士まで付いた科学的トレーニングでもアクシデントがある。この要因は出雲駅伝・日本大学駅伝など全国大会級駅伝の多様化にある。出場選手は自己を顕示しようとするから己の体調を無視し、辞退することを知らない。

あおば通 田中 雄二



山に登ったご褒美は

荻川歩こう会 石野

6月恒例会は12日(日)長岡市の鋸山(765メートル)でした。1カ月前に下見登山を行い準備を進めてきました。参加者は22名でした。1週間前の予報では「曇り晴」で心配なしでした。所が2日前から梅雨前線が近づき、その日の天気は下り坂となり曇り、小雨、雨となりました。しかも前日の雨で道は滑ったりで危険な状態でしたが天気も曇りに変わり全員無事頂上に着くことが出来ました。予定では頂上で昼食でしたが、突然大粒の雨が降り出しテンヤワヤで、とりあえず記念写真を撮りすぐ出発、下山の間は降りっぱなしでした。全員怪我もなく無事帰ることが出来ました。皆様に感謝です。



ご褒美は心地よい疲れと達成感ではなかったかと思いました。沢山の雨にたたかれましたが楽しい1日でした。

スズメのヒナ誕生



我が家のバラにスズメが巣をつくりました。こんな場所によくもまあと、もうびっくりです。それから卵が生まれ、ヒナが生まれました。孫たちもとても喜んでいました。

.....荻川交番だより.....

自転車に鍵をかけましょう！

昨年荻川駅西口で自転車の盗難被害が多発しました。今年に入ってしばらく発生はありませんでしたが、最近再び被害が増えています。

鍵をかけ忘れた自転車が盗まれています。

自転車に鍵をかけましょう。

特殊詐欺被害増加中！

オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺などの特殊詐欺被害は、今年5月末現在、新潟県内で74件発生し、その被害額は約2億円です。秋葉警察署管内でも、今年に入り還付金詐欺の被害が2件発生しています。

詐欺の犯人は、区役所職員や警察官などを装って電話をかけてきます。

「税金や保険料などの還付金がある」「今すぐATMで手続きすれば受け取れる」といった電話は詐欺です。

相手の言いなりにならず、すぐに家族や警察に相談してください。

秋葉警察署 0250-23-0110



お知らせ・情報・会員募集コーナー

「いきいき塾」会員募集

「荻川いきいき塾」は平成20年(2008年)3月1日に「屋外事業」「屋内各種教室・クラブ」に参加し、塾生(会員)相互の親睦を深め、地域住民にコミュニティ活動への積極的参加を呼びかける。「健康で長生き」「寝たきりゼロ」をめざす。を目的で立ち上げた親睦団体です。過去2年は「新型コロナ感染拡大防止」の影響で、各「屋外事業の」中止及び「教室・サークル」は縮小しての活動でしたが、今年度は「感染対策」を考慮して、3年前同様の活動を実施しています。また、秋には2年間中止しておりました。「日帰り旅行」も検討しています。

なお、会員数は一時302名(2019年)でしたが、2012年は264名と38名減少しています。よって、2022年度は「広報おぎかわ」に毎月「いきいき塾」の「各クラブ」の会員募集を掲載させていただいております。今回は「いきいきダンス」を掲載させていただき、是非、荻川住民の方からは塾生(会員)となつていただき、一緒に楽しい日常生活を過ごす事を楽しみにしています。

「いきいきダンス」会員募集

1. 代表：曾我和寿
2. 講師：松鷹竹夫
3. 会費：月額500円・年額6,000円
4. 実施日：毎月第2・3・4土曜日
5. 時間：午前10時～12時
6. 会場：荻川コミセン・分館大会議室
7. 会員：10名(男子：5名・女子：5名)
8. 「活動ポイント」



- (1) 講師が優しく指導してくれます。
- (2) 初心者は大歓迎です。
- (3) 健康増進とほけ防止のため、無理をせず楽しくダンスを踊っています。
- (4) 新型コロナ感染防止対策を考慮して、練習毎マスクと消毒を実施。
9. お問い合わせ・お申し込みは、荻川コミセン「事務局」
TEL 0250-24-5776 へ

硯心会の作品展

コミセン二階第一研修室前の廊下で展示しました。



編集後記

2年半も続いた「コロナ禍」も、ようやく終息を迎えようとしています。

荻川地区の行事、催し物も徐々に再会が聞かれるようになり、以前の生活に戻りつつある事に期待している所です。しかしながら、世界情勢の不安定から、生活用品、食料品等の値上げから、流通に関わるガソリン等の値上がりで多種、多様な全ての商品に影響しています。又、円安の影響で輸入品全てにも価格に転嫁され、これからも影響が続く事が懸念されます。政府の経済対策にあまり期待が持てない中で、私たちは自らに「生活防衛」に徹し「コロナ禍」以降も続く生きづらい世の中を乗り越えて行きましょう。

(H・Y)

「広報 おぎかわ」

話題・情報提供のお願い

総務部では読みやすく、より皆様に親しまれる広報作りを心掛けています。

町内会行事など身近な話題、耳寄りな情報やイラスト、写真など気軽に下記へお寄せください。

◆提供先 コミ協事務局(総務・広報部)
TEL 24-5776